

**2023年度 後学期**  
**文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定**  
**「保育・子育て支援ラーニングプログラム」シラバス**  
**(お茶大 ECCELL 社会人プログラム)**

**【後学期】**

基礎科目：乳幼児のくらし A/B

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL 事務局 nyuyoji-reply@cc.ocha.ac.jp

**乳幼児のくらし A/B**

日程：A：2023年10月10日、17日、24日（18:30～20:30）3回

B：2023年11月14日、21日、28日（18:30～20:30）3回

「乳幼児のくらし」は全6回、Zoomによるオンライン授業で行いますが、前半3回（A）、後半3回（B）だけの受講もできます。

※2022年度前学期にBP登録し、履修証明書取得を考えている方は、両方とも受講してください（BP基礎科目：12時間）。

担当：宮里 暁美（お茶の水女子大学 寄附講座教授）

**主題と目標**

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂される今、0歳児～5歳児までの発達を見通した保育カリキュラムおよびカリキュラムマネージメントの重要性が強調されている。発達の連続性に根ざしたカリキュラムを作成していく上で重要なのは発達の理解である。本授業は「くらし」という視点から、子どもの世界の探究と理解を行う。今回は「文化」に焦点を当て、「くらし」＝「遊ぶ・音楽・出会い」の視点で、子どもの姿を紹介し合いながら、考察を深める。

子どもの姿、受講者自身の体験、文献からの学び等を通して得た理解を基盤に、豊かで確かな育ちを支える「くらし」的アプローチに基づいた保育を構築する手がかりを得ることを目標とする。

**教科書・参考図書**

授業で紹介する。適宜レジュメや資料を配布する。

**評価方法・評価割合**

レポート（リアクションコメント）50%、発表30%、授業への参加態度20%

**授業計画**

**【乳幼児のくらしA】**

- ① 講義・対話：お茶大こども園の実践から見えてくる「遊び・音楽」
- ② グループワーク・発表：私の思い出の「歌」を語ることから、「歌」について考える
- ③ 講義・対話：生活の中に、遊びの中に、歌がある、ということ  
講師：福田翔先生（あそびうた作家）

**【乳幼児のくらしB】**

- ④ 講義・対話：お茶大こども園の実践から見えてくる「出会い・紡がれるもの」
- ⑤ 講義・対話：絵本「バスが来ましたよ」に焦点をあてて  
講師：松本春野先生（絵本作家）
- ⑥ グループワーク・発表：「くらし」的アプローチをかたちに見てみる・・・

※授業の前に課題を提示することがある。

**学生へのメッセージ**

保育の実際について、語り合い学び合う機会になればと願っています。自由感を大事にし、受講者の皆さんと作り上げる授業にしていきたいです。